

くるん ニャッ!



2016.4

やまぐちまちなか情報広報誌

やまぐち



どうして、
中心市街地の
活性化が
必要なの



一の坂川交通交流広場

くるーニヤツ! ニュース



平成27年
7月2日
オープン

一の坂川交通交流広場

オープン



情報発信広場



ふれあい広場



交流イベント広場



おいでマルシェの坂
(平成27年11月から1回開催)

広場では
さまざまなイベントが
行われているニヤ!



山口ワールド・クリスマスマーケット 2015
(平成27年12月11～12日)



山口セタちようちんまつり、
ちようちんツリー設置 (平成27年8月6～7日)

平成27年7月2日、公設・川端市場跡に「一の坂川交通交流広場」がオープンし、記念式典が行われました。トイレや休憩スペースを備えた情報発信広場、噴水や遊具があるふれあい広場、芝生の交流イベント広場、観光バス駐車場があります。広場を整備することで、大殿地区・パークロード・中心商店街がつながり、人が回遊しやすくなりました。広場でイベントも開催され、新しい交流やにぎわいが生まれています。

中市町1番地区優良建築物等整備事業 再開発ビル「リュシオル中市」が完成!!

平成27年12月25日、中市商店街に完成した再開発ビル「リュシオル中市」の竣工式が行われました。1階に3店舗の商業店舗、2～13階は住宅が入居する複合施設で、にぎわいの創出やまちなか居住を促進します。

【所在地】山口市中市町1番27号
【区域面積】約1,600㎡
【延床面積】約7,600㎡
【店舗面積】約280㎡
【戸数】72戸

平成27年
12月25日
完成



1階には美容院や雑貨店が入居



商業施設、住宅、駐車場が一体となった施設



リュシオルは、フランス語でホテルの意味

ほたる広場 オープン

平成27年
4月1日
オープン

平成27年4月1日、米屋町商店街と一の坂川沿いを結ぶ空間にポケットパーク「ほたる広場」がオープンしました。憩いの空間となるだけでなく、商店街と一の坂川の人の流れを作り出します。



かつて、山口祇園祭で連歌が読み継がれる御連歌所「笠着堂」が米屋町にあったことから、笠着堂の解説板も設置。



山口セタちょうちんまつりでは、ほたる広場に「白石カフェ」を開設(平成27年8月6～7日)。



QUESTION

なぜ、中心市街地の活性化が必要なの？

何もしないと
社会は…

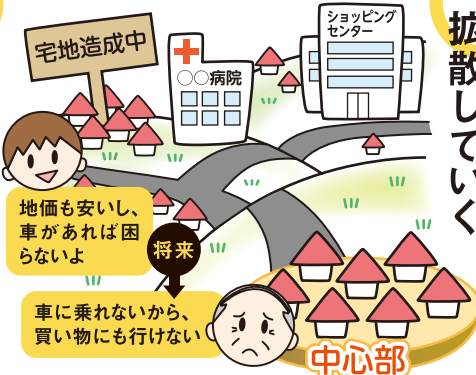
まちが
拡散していく

インフラ整備で
税金負担増



税金ばかり
払って
いるような…？

まちの魅力が
なくなっ
たわ



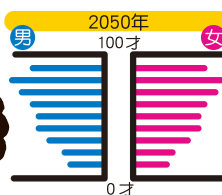
将来
車に乗れないから、
買い物にも行けない

中心部

にぎわいが
なくなり、
まちが衰退



3人に1人が
お年寄りになるかも！



人口減少・
超高齢化社会

このままでは、暮らしにくくなる…

国の方針

「コンパクトなまちづくり」

住環境の
向上

医療・福祉の
確保

農業を含む
地域活性化の
取り組み



中心市街地
活性化

※全国129の市や
地区が認定
(平成28年2月末
時点)

公共交通の
充実

高齢者など、多くの人に暮らしやすいまちにするため、様々な都市機能をコンパクトに集めたまちづくりが、国の方針で推奨されています。

コンパクトなまちづくりは、地方都市発展の一環として、
いろんな取り組みと一体となって進めることが必要



山口市の場合…

観光・交流の
まじし〜り

雇用促進・
中小企業振興

農水産業の強化

若者の定着支援

国機関や企業の
地方移転促進

移住促進

教育・アート・文化
観光・スポーツ地
育む都市づくり

中心市街地の活性化

商業・サービスの活性化

居住環境の改善



結婚・出産・
子育てへの支援

仕事と子育ての
両立支援

教育環境の充実

協働による
まちづくり

安心・安全な
市民生活

いろんな取り組みと密接に連携することで、中心市街地だけでなく、地域全体も活性化するニュー

詳しくは次ページ以降へ!

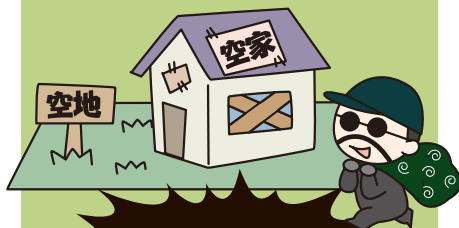


「住宅市街地総合整備事業」

道路の整備、空き家、空き地の改善により、まちなかの暮らしの魅力を高めます！

① なぜ必要なのか？

空き家・空き地の増加



防犯・防災上の不安
まちの活力低下

4m未満など狭い道路が多い



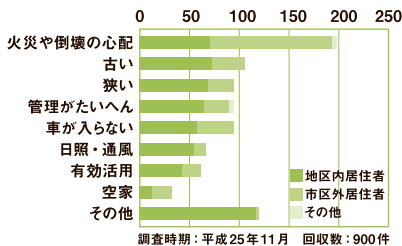
緊急車両が通れない
家の建て替えができない

年数が経った木造住宅が多い



災害時の倒壊
火災の延焼のおそれ

市民アンケートの声 (住宅・建物の評価)



中心市街地は
建物密集地だから、
いろんな不安が
あるんだニャ



「住民参加型」まちづくりレポート

これまでの動き (平成26・27年度)

地元協議会の設立

平成26年12月11日
中心市街地の住環境について、まちづくりの話し合いや提案を行う場として地域住民やまちづくりの関係者で組織する地元協議会が設立しました。



まちあるき点検の実施

平成27年2月7日
地元の方々がまちあるきを行い、地域を点検しました。まちあるき後は、どんなところを改善するとより暮らしやすいまちになるかを検討しました。

シンポジウムの開催

平成27年2月8日

② 何をするのか？

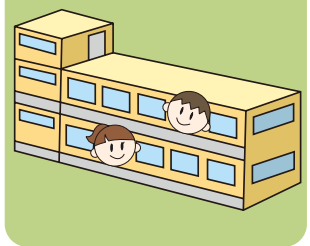
公園や広場を整備



道路の整備



代替住宅の確保



建て替えの支援



まちなかの暮らしの魅力を高めるニヤ



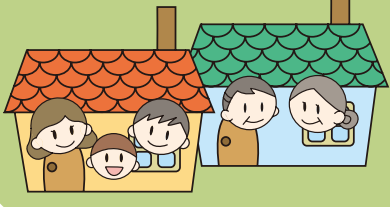
土地の有効活用

コミュニティ
機会の
創出

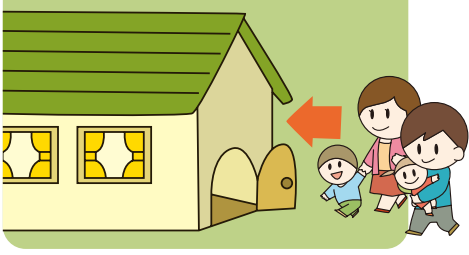
住宅や
住環境の
改善

③ どうなるのか？

暮らしやすく、
ずっと住み続けられる
まちになります



新しい居住者の増加にも
つながります



人が集まる元気なまちに
なっていくニヤ〜

対象エリアは裏表
紙のマップを見る
ニヤ！



協議会の開催

(平成26年12月〜平成28年2月
計7回開催)
平成28年度以降、整備を検討するエリアや整備内容、整備方針などを定める住宅市街地整備計画(市策定)について協議・承認を行いました。



先進地視察の実施

平成27年7月13日
地域の課題を共有し、今後のまちづくりに活かすことを目的として、大分市への先進地視察を実施しました。



住環境の改善をテーマに「山口市中心市街地活性化シンポジウム」が開催され、参加者約100人が安全に住みやすい中心市街地のまちづくりについて考えました。



「バリアフリー基本構想策定事業」

道路・施設等のバリアフリー化で誰もが暮らしやすいまちに！

どんな事業？

- ・中心市街地とその周辺がバリアフリー化を推進する重点整備地区の一つとなります。

- ・高齢の方や障がいを抱える方をはじめ、多くの人を訪れる施設や道路について、バリアフリー化事業を計画します。

- ・「誰もが暮らしやすいまち」を目指します。

事業の流れ

- 平成28年度
バリアフリー基本構想の策定を目指します。
- 平成32年度
平成32年度を目標に整備を進めていきます。

例えば…



段差や勾配がなくなると、誰もがみんな歩きやすくなるニャ！



基本方針

① 山口駅を中心とした一体的なバリアフリー化の推進

③ 多様な人々の協働による心のバリアフリーの推進

② 駅通り及び商店街アーケードを軸として、中心市街地にぎわいつくり貢献するバリアフリーの回遊空間つくりの推進

News

心のバリアフリーワークショップが開催されました

平成27年11月20日、市民の皆様へのバリアフリーに対する認識を深め、思いやりのある行動を促すことを目的に、「心のバリアフリーワークショップ」が開催され、約30人が参加されました。ワークショップでは、高齢の方や障がいを抱える方、子育て中のお母様等がそれぞれグループに分かれて、施設等の整備では解決されない「心のバリア」について考えました。



助けてと言いつらい時もある

困っているかどうか分からない場合がある

席を譲ったが、断られて悲しかった

障害を持っているのか、見た目分からない

「リノベーション事業」

遊休不動産を活用するアイデアをみんなで考える

事業のはじまり

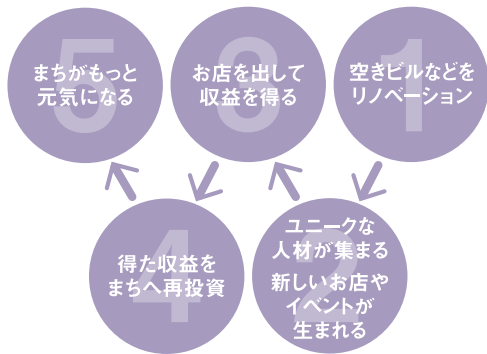
中心市街地では、さまざまな事情で貸し出しができない店舗や借手がつかない店舗(遊休不動産)が増えています。これらをまちのために使えるものにするのができないか、という想いからこの事業が生まれました。

「中心市街地活性化協議会
リノベーション専門部会」を設立
平成27年9月30日
まちづくりを行う民間の事業主体
(オーナー、テナント入居者等で構成される連携体)を育てます。

どうなっただい?

事業主体が実際に中心市街地の空きビルなどのリノベーションを行い、得た収益をまちへ再投資していくことで、人材が集まり、お店やイベントが生まれることを目指しています。さらには中心市街地が働く場を生み出すエンジンとなることも期待しています。

民間主導でリノベーションまちづくりを行う



事業のこれから

平成28年2月、キックオフイベント「ヤマグチリノベ」を開催。これからワークショップを重ね、具体的な事業計画を作り上げていき、最後には公開アイデアコンペを行い、具体的な事業実施を予定しています。

途中参加も大歓迎!
興味ある人は
参加してみるニャ。



ヤマグチリノベ

～アイデアひとつがまちを変えよう～



[ヤマグチリノベウェブサイト]
<http://y-renove.com/>

ヤマグチリノベ

～アイデアひとつがまちを変えよう～

平成28年2月13日

「まちをよくしたい」「自らのイメージを具現化したい」という想いのある方々に参加していただきました。

「まちなか物件見学ツアー」グループに分かれて、商店街の空き店舗・物件を見学しました。



先進事例の紹介講演「下関市のリノベーション事例について」
講師 remonoseki 木村大吾氏



「まちを語れBar」様々な年齢・職種の方と、食事を楽しみながら交流会を行いました。

リノベーションとは、既存の建物に改修工事を行い、用途や機能を変更して性能を向上させたり付加価値を与えること。

「あきないのまち支援事業」

空き店舗を減らして、商店街ににぎわいを！

中心商店街にある空き店舗で新規に開業する方を対象に、出店時の店舗改装費等の支援を行います。
商店街のさまざまな情報を知っている
タウンマネージャーが、要望に合わせた場所を紹介します。

タウンマネージャーにご相談ください

12～13ページの
出店ストーリーも
読んでニャ！



あきないのまち支援事業補助制度

【補助対象】店舗改装にかかる経費
【補助金額】●飲食業 補助対象経費の2分の1以内(上限150万円)
●飲食以外の小売・サービス業等 補助対象経費の2分の1以内(上限100万円)

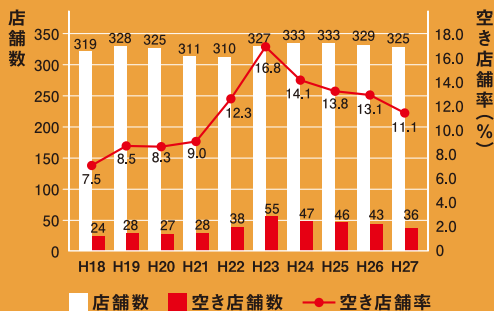
●事務所 補助対象経費の2分の1以内(上限50万円)
※市内に住民登録がある35歳未満の経営者及び女性の経営者：上限額30万円加算

平成23年にタウンマネージャーを設置して以来、タウンマネージャーを中心に空き店舗対策等に取り組んでいます。中心商店街のさまざまな情報を一元化して保有しているので、ご希望やニーズに沿った場所をご紹介できます。
中心商店街のことならなんでも聞いてください。



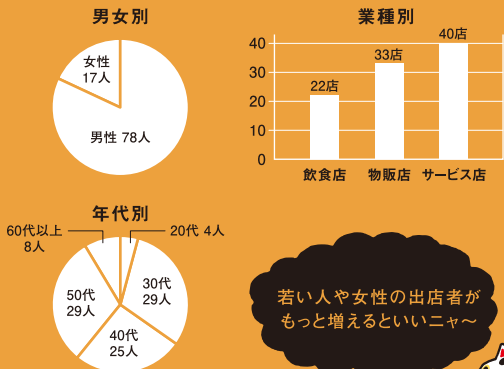
タウンマネージャー
有田貴さん

空き店舗の推移



数字で見る出店者

(平成23～27年度のデータより)



若い人や女性の出店者が
もっと増えるといいニャ～



[問い合わせ]
山口街中サポートセンター
TEL 083-925-2300
(山口商工会議所内)



新しいお店を出したい方、面白いイベントをしたい方などを、幅広くサポートしています。ウェブサイトに空き店舗情報を掲載中。随時最新情報に更新しています。

<http://yamaguchi-support.jp/>

米屋町東地区優良 建築物等整備事業

何を作るの？

米屋町商店街の東地区（中市商店街方面）に、商業施設やデイサービスが入った、サービス付き高齢者向け住宅等の整備を検討しています。

どうなるの？

↓

- 高齢者に対応したサービスで、誰もが暮らしやすいまちに！
- 高齢者に特化した住宅ができることで、まちなか居住を促進！



【事業主体】合同会社 米屋町東地区開発 【建築面積】約870㎡
【整備内容】商業施設、デイサービス、サービス付き高齢者向け住宅 等
【竣工】平成29年度（予定）

黄金町地区第一種 市街地再開発事業

何を作るの？

老朽化した道場門前大駐車場等を再整備し、商業施設や公益施設、地域防災施設、駐車場、共同住宅などの整備を検討しています。

どうなるの？

↓

- まちなか居住の促進やにぎわいの創出！
- 防災性の向上により、居住環境が良くなる！



【事業主体】山口市黄金町地区市街地再開発準備組合
【建築面積】約5,300㎡ 【整備内容】共同住宅、商業施設、駐車場 等
【竣工】平成31年度（予定）

「山口市中心市街地への 出店ストーリー」



お肉のどうもん 松本

代表 **松本 供徳** さん (44)

平成27年7月、道場門前商店街に
「お肉のどうもん 松本」をオープンした
松本さんにお店の特徴や商店街の
印象についてお話を伺いました。

お店の特徴を
教えてください。

国産の和牛を中心に取り扱って
いる精肉店です。精肉以外にも
コロッケや焼き豚も販売してい
ます。味にこだわって仕入れをし
てるので、「一度食べてみたら美
味しかった」とリピーターになる
人が多いですね。

なぜ商店街に
出店したのですか？

実家が下関市の精肉店なので、そ
こで長く働いていました。下関でい
ろいろな人に教わったことを他の
土地で活かしてみたいと思い、出
店を考えるようになりました。県
庁所在地だということもあって山
口市にと考えたのですが、昨年4

月に初めて山口市中心商店街を
歩いてみて、人が多いのと、まちの
面白さに感心しました。それで、自
分の中でしっくりきたので、すぐに
出店を決めました。

商店街の印象は？

イベントやお祭りが多く、人がた
くさん訪れるのが印象的です。
各店舗の人たちが団結してい
て、商店街のいろんな取り組み
や企画を考えているからだと分
かりました。
客層は、年配の方が多いと思っ
ていましたが、お子様連れの若い主
婦が多いのに驚きました。「子ど
もがここで買ったお肉なら食べて
くれるので」と言われることも
ありました。

今後の目標は？

これまでの経験でいろんな人から
学んだことを山口で実践してい
きます。出店して日が浅いので、
コツコツやって安定させるのがと
りあえずの目標です。いろんな
世代の方に来てもらいたいですね。



お肉のどうもん 松本

精肉店

[開店日]平成27年7月 [所在地]道場門前商店街
[営業時間]9:00~19:00 [定休日]水曜

平成27年度に
山口市中心商店街へ
出店した店舗を
見てみるニャ。



New
**SHOP
INFORMATION**



Laniiu (ラニウ)

雑貨店

[開店日]平成27年8月
[所在地]駅通り商店街



うらなや

占い

[開店日]平成27年7月
[所在地]道場門前商店街



酒家肉処 味大 (あじおお)

飲食店

[開店日]平成27年4月
[所在地]駅通り商店街



VERTUE (ヴェルヴェ)

衣料品

[開店日]平成27年4月
[所在地]駅通り商店街



魚屋波柄

なみから

代表 **坂井 昭夫** さん (37)

平成27年12月、中市商店街に「魚屋波柄」をオープンした坂井さんにお話を伺いました。

お店の特徴を教えてください。

萩の魚を中心に、県内外の選りすぐりの鮮魚を販売しています。対面式で魚をさばくところが見えるようになっていて、調理法のアドバースも可能。鮮魚以外にも、寿司や総菜も販売し、イトインコーナーでは、海鮮を使った丼や定食を提供するほか、購入した総菜や寿司をその場で食べることもできます。

鮮魚の加工は魚のプロ、寿司や総菜は調理のプロがそれぞれ作っていて、質が良いもの、美味しいものを安く提供しています。

出店の経緯を教えてください。

元々、湯田温泉で魚をメインにした居酒屋を経営していました。毎朝、自分で市場に仕入れに行き、旅館や割烹への魚の卸売もやっていたので、魚屋が居酒屋をやっているという感覚でした。居酒屋を始める時から魚屋の開

業は考えており、ようやく1年前から準備をスタートし、本来なら今年の春に2号店として商店街に魚屋を出店する計画でした。そんな中、昨年9月に火災に遭い、居酒屋が全焼。スタツフを抱えていたので、早く何とかしないといけないと思い、元々計画していた魚屋の話を進め、昨年12月のオープンにこぎつけました。

なぜ商店街に出店しようと考えたのですか？

いろいろな場所を検討しましたが、出店リサーチの時に商店街を歩いて感じたことは、人通りがあるのと、商店街の人ががんばって盛り上げているのが印象的でした。この辺りは私の地元ですし、山口市中心商店街と呼ぶだけあって、まちの中心だと思っています。だからこそ、商店街を出店候補にしました。

居酒屋の時は、お酒を飲む目的の人が大半。新店舗になっても変わらず来店してくれる方が多

いですが、それに加えて、主婦や高齢者など、ターゲットの幅が広くなりましたね。

今後の目標は？

商店街の人がみんながんばっていることに感心しています。私ももっと商店街を盛り上げることと協力していければと思います。自分の店のこと言えば、この場所ががんばって、いつか飲食業を再開させたいですね。そのために、まずはここで魚屋を成功させることが目標だと思っています。



魚屋 波柄 鮮魚店

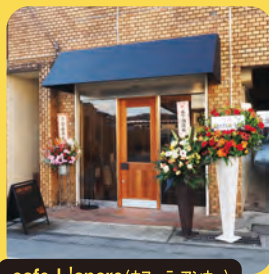
〔開店日〕平成27年12月 〔所在地〕中市商店街
〔営業時間〕9:00~18:00 〔定休日〕不定休



新しい整骨院

整骨院

〔開店日〕平成28年3月
〔所在地〕西門前商店街



cafe L'ancre (カフェ・ランカー)

カフェ

〔開店日〕平成28年3月
〔所在地〕大市商店街



PLENTY (プレントイ)

エステ

〔開店日〕平成28年2月
〔所在地〕駅通り商店街



大衆天ぷら しらいし

飲食店

〔開店日〕平成27年8月
〔所在地〕道場門前商店街



meat experts B

飲食店

〔開店日〕平成27年8月
〔所在地〕道場門前商店街

まちかどインタビュー

中心市街地活性化の取り組みについてどう思いますか？



商店街の裏の道が狭くて危ないと思っていたので、道を広げるのは良いと思います。ただ、そのために家を壊すということであれば、地元の人の声が気になります。

平野 絹子さん(23) 大学生



最近、商店街にカフェが増えたので、友だちと一緒によく行くようになりました。若者が集まる空間が増えたら、活性化につながると思います。

宮崎 彩香さん(23) 大学生

商店街全体で見れば、店が揃っているのに、目的がないと入りづらい雰囲気があります。自己PR力の発揮と、自然に交流が生まれるような仕掛けが必要だと思います。

杉山 裕子さん(33)
ポヌール(新町商店街)



マンションができて人口が増えましたが、子どもが増えなくても遊ぶ場所が少ないままです。公園や室内の遊び場など、子どもが集まる場所をもっと欲しいですね。

吉崎 満美子さん(36)
ワームス(道場門前商店街)



運転免許を持っていないので、まちなかに住むと歩いて用事が済みますことができ、子育て中でも便利です。商店街には「てとと」もあり、子育てが楽しくなりました。

末長 幸恵さん(29) 主婦



子どもがいるので、空き店舗にお店が入ると人の目が増えて、安心感につながります。子どもを連れて入れる飲食店など、誰もが安心して過ごせる場所が必要ですね。

神田 雅容子さん(37) 主婦

中心市街地は道路が狭く、住宅を建替えたくても建替えできないといった課題や空き地・空き家も多く、防災、防犯上に不安を感じています。このような問題点が改善され暮らしやすく住み続けられるまちになると良いですね。

松原 金次郎さん(70)
白石地区居住者



高齢化社会でお年寄りが増えてきているため、どうしたら高齢者が豊かに暮らしていけるかを考えていかなければいけないと思います。例えば、気軽に集えて楽しめる場所があると良いですね。

黒瀬 幸司さん(67)
白石地区居住者



商店街でのタイアップ事業

山口県立美術館 とのコラボ

山口県立美術館での特別展開催期間中に観覧券の半券を、山口市中心商店街内の協力店で提示するとサービスが受けられるタイアップ事業を行いました。約70店が協力店となり、ドリンクや粗品の提供、値引きなどのサービスを実施しました。

- 「明治工芸の粋」半券サービス
(平成27年2～4月)
- 「篠山紀信展写真力」半券サービス
(平成27年4～6月)
- 「世界大恐竜展」半券サービス
(平成27年7～8月)
- 「ドラッカー・コレクション 珠玉の水墨画」半券サービス
(平成27年10月～12月)

半券でお得なサービスが
受けられるニャ



山口井筒屋との コラボ

百貨店「山口井筒屋」で開催される物産展に合わせて、山口市中心商店街の協力店でも連動したサービスを提供しました。北海道物産展開催中には、飲食店が期間限定で北海道にちなんだメニューを展開。大京都展開催中は、飲食店による抹茶などを使った特別メニューの提供や、呉服店による割引サービスや商品紹介を行いました。

- 「春の北海道物産展」連携特集
(平成27年3～4月)
- 「大京都展」連携特集
(平成27年9月)
- 「秋の北海道物産展」連携特集
(平成27年11月)

北海道や京都を感じる
商品やメニューを提供ニャ



レノファ山口FC とのコラボ

フットサルクラブ「レノファ山口FC」のホームゲーム開催に合わせて、山口市中心商店街の協力店でサービスを提供。ホームゲームの試合前3日間の「応援サービス」や、ホームゲームに勝利した試合から3日間の「勝ったらサービス」を実施。J3リーグに優勝し、J2リーグに昇格したことから、昨年12月には山口市中心商店街でパレード&セレモニーを開催しました。

- ホームゲーム特別応援サービス
(平成27年3月)
- ホームゲーム特別応援サービス第2弾
(平成27年10月)

道場門前商店街には
アンテナショップがあるニャ



明治安田生命J3リーグ優勝・J2リーグ昇格記念パレード&セレモニー(平成27年12月13日)

→ P.3

→ P.2

一の坂川周辺地区整備事業
【ほたる広場】

一の坂川周辺地区整備事業
【一の坂川交通交流広場】



第2期
山口市中心市街地
活性化基本計画
対象エリア

黄金町地区
第一種市街地
再開発事業

→ P.11

バリアフリー
基本構想策定事業

→ P.8

住宅市街地
総合整備事業

→ P.6-7

リノベーション
事業

→ P.9

あきないのまち
支援事業

→ P.10

米屋町東地区
優良建築物等整備事業

→ P.11

中市町1番地区
優良建築物等整備事業
【リュシオル中市】

→ P.3

意見を聞かせてニャ!

山口市中心市街地活性化の
取り組みについて、みなさんの意見を
山口市中心市街地活性化協議会までお寄せください。

[発行元]

山口市中心市街地活性化協議会

〒753-0086 山口県山口市中市町1-10 (山口商工会議所内)

TEL : 083-925-2300 FAX : 083-921-1555

E-mail : yc@yamacci.or.jp

[編集・デザイン・印刷] 株式会社マルニ



(編集委員 ヤマモト)

「くるーニャッーやまぐち」の発行も早いもので
第4号になりました。平成27年は、中心市街地に
憩いの場となる広場や居住を促すマンションが完
成し、人が集まる仕掛けづくりが始まったところ
です。商店街の空き店舗にも20軒以上のお店がオー
プンし、新たな賑わいが創出されていると感じてい
ます。
今後展開する様々なプロジェクトは、商店街
の活性化だけではなく、居住環境の改善にも力を
入れ、来街者や居住者の増加が更に期待できそう
です。市民の皆さんがこの冊子を読まれて、人口減
少・少子高齢化社会に対応した「コンパクトなまち
づくり」の必要性を実感され、行政と協働で行う
中心市街地活性化の取り組みについて理解を深め
ていただければ幸いです。

編集後記

山口市中心市街地 活性化に向けて